

平成24年10月25日
東海旅客鉄道株式会社

浜松工場 開設100周年について

浜松工場では、今年11月1日に開設100周年を迎えます。この機会に、浜松工場のこれまでの歩みを振り返るとともに、現在のリニューアル工事の状況などについて、お知らせいたします。

1. これまでの歩みと現在の状況

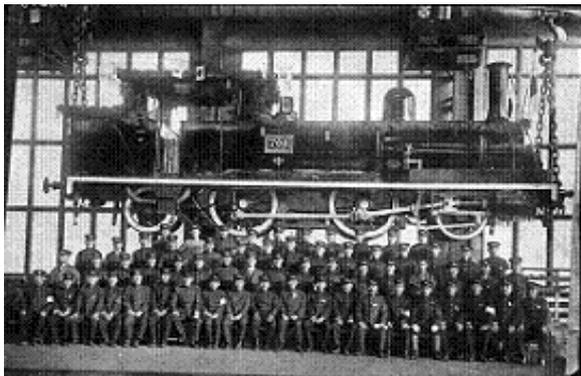
浜松工場は、大正元年（1912年）に、「鉄道院（当時）浜松工場」として開設されて以来、蒸気機関車の修繕から始まり、時代の変遷に合わせて電気機関車、ディーゼル機関車、在来線電車、そして新幹線電車と幅広い車両の保守、製造、改造に携わることで、発展を遂げてきました。

現在は、東海道新幹線唯一の全般検査（※）を行う専門工場として、新幹線の安全運行を支えています。また、地元浜松の皆様にも支えられ、毎年夏の「なるほど発見デー」では累計55万人の方にお越しいただくなど、現在もひろく親しまれる存在となっています。

（これまでの歩み：別紙1） ※全般検査 …36ヶ月以内または走行120万km以内で実施するオーバーホール

現在、浜松工場では、最新の新幹線電車工場を目指して、リニューアル工事を実施中（平成31年3月完了予定）です。今後は、この工事を安全に進めつつ、来年4月からはN700系に新型車両N700Aの技術の一部を取り入れる改造工事に取り組んでいきます。

（工事進捗状況：別紙2）



大正時代の浜松工場の様子
（写真背景は当時の700形機関車）



現在の浜松工場の様子
（N700系全般検査）

2. 「リニア・鉄道館」での記念展示

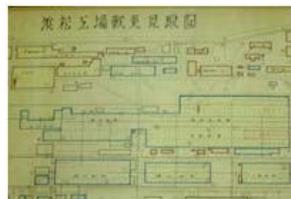
浜松工場100周年を記念して、「リニア・鉄道館」（名古屋市）にて「浜松工場開設100周年記念～鉄道の近代化と工場の歩み～」と題して、戦災や鉄道の動力近代化の中、鉄道の安全・安定輸送を支えてきた浜松工場の歴史を紹介する收藏品・パネルを展示します。

開催期間：平成24年10月31日（水）～平成25年2月11日（月）

【主な收藏品】



機械製造銘板
（昭和12年）



戦災状況を示した図
（昭和20年ごろ）



浜松工場表札
（昭和29年ごろ）

別紙 1 浜松工場のあゆみ

- 大正 元年（1912 年）： 鉄道院中部鉄道管理局浜松工場として開設（11 月 1 日）
（蒸気機関車の修繕からスタート）
- 大正 8 年（1919 年）： 18900 形蒸気機関車（後に C 5 1 と改称）新製
- 昭和 1 2 年（1937 年）： D 5 1 形蒸気機関車を製造
- 昭和 1 7 年（1942 年）： 浜松工場から浜松工機部へ名称変更
- 昭和 1 9 年（1944 年）： 電気機関車の検修を開始
- 昭和 2 0 年（1945 年）： 空襲及び艦砲射撃による甚大な被害を全職員が一丸となり復旧
- 昭和 2 4 年（1949 年）： 日本国有鉄道発足
- 昭和 2 5 年（1950 年）： 浜松工機部から浜松工場へ名称変更
- 昭和 2 8 年（1953 年）： ディーゼル機関車の検修を開始
- 昭和 3 6 年（1961 年）： 在来線電車の検修開始、新幹線建設のための事業用車を製造
- 昭和 3 7 年（1962 年）： 新幹線の検修工場に指定
- 昭和 3 9 年（1964 年）： 東海道新幹線開業
- 昭和 4 0 年（1965 年）： O 系全般検査開始
- 昭和 5 6 年（1981 年）： 新幹線電車の全般検査 1 万両を達成
- 昭和 6 2 年（1987 年）： JR 東海発足、1 0 0 系全般検査を開始
- 平成 元年（1989 年）： 1 0 0 系を製造
- 平成 5 年（1993 年）： 3 0 0 系全般検査を開始
- 平成 7 年（1995 年）： 「新幹線なるほど発見デー」スタート
- 平成 8 年（1996 年）： 新幹線電車の全般検査 2 万両を達成
- 平成 1 2 年（2000 年）： 7 0 0 系全般検査を開始
- 平成 2 0 年（2008 年）： 新幹線電車の全般検査 3 万両を達成
- 平成 2 1 年（2009 年）： N 7 0 0 系全般検査を開始
- 平成 2 2 年（2010 年）： 最新の新幹線車両工場を目指してリニューアル工事開始
（～平成 31 年 3 月完了予定）

（参考）東海旅客鉄道株式会社 浜松工場

所在地： 静岡県浜松市中区南伊場町 1-1

社員数：約 1, 6 5 0 名

敷地面積： 約 3 1. 8 万㎡

（平成 24 年 10 月 1 日現在・関係会社含む）

